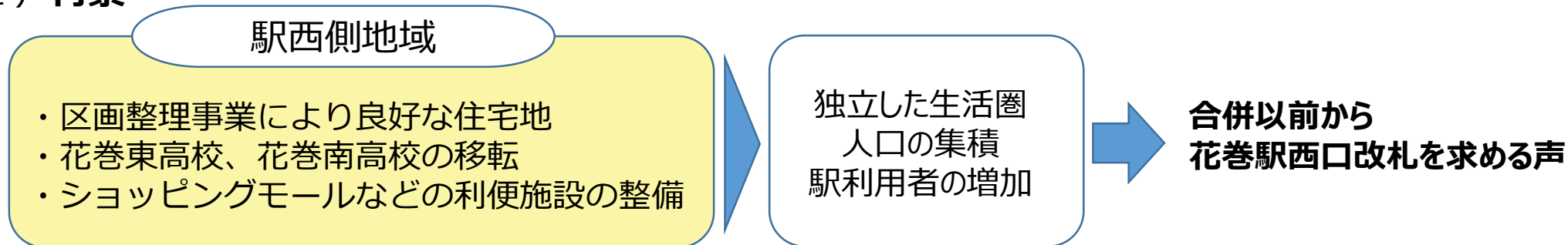


JR花巻駅橋上化・東西自由通路整備事業の概要について

建設部 都市機能整備室

1. 検討の背景

(1) 背景



(2) 検討経過 ※詳しい検討経過については、巻末の参考資料を参照

○平成12年度、西口改札所の設置についてJR東日本コンサルタンツに基本設計を委託。

① 既存の線橋をそのまま延伸する「延伸案」概算整備費 3億9800万円。

② 新たに線橋を建設し既存の線橋に併設する「併設案」概算整備費 4億2900万円。

○平成14年度、西口改札所設置の条件をJRに照会。建設費のほか、西口改札所に常駐する駅員人件費を含めた管理運営費の全額を永続的に地元で負担することなどの条件が提示。

○合併時に策定する新市建設計画（平成17年2月策定）に「花巻駅西口関連整備事業（継続調査）」と掲載。花巻市総合計画基本計画（平成19年度から平成27年度）に「花巻駅西口関連整備事業（調査事業）」と掲載。

→合併後も市の重要課題としての位置づけ

○平成27年に、JR東日本東北工事事務所に対し平成12年度にJR東日本コンサルタンツに委託した基本設計の工法による、既存の線橋を延伸し西口改札を設置する方法が可能か確認。「平成12年の基本設計の方法は、今(H27)ではあり得ない工法であり、現在では駅の橋上化で検討することとなる。改札は人件費を考慮し1個所に集約する。」との回答。

→駅の橋上化・自由通路整備の検討

2. 令和3年度及び令和4年6月まで実施した追加調査の内容

(1) 調査の目的

説明会の際に市民等から「西口トイレの整備」要望や「橋上駅の検討」の必要性、「西口広場整備」「西口駐車場の整備」の意見など西口広場周辺の整備に関する意見、JR東日本からは通路長さ短縮や駅施設の簡素化などのコスト削減の提案などがあったことから、半橋上駅案の概略設計の見直しと事業費の再積算、橋上駅案の検討、西口駅前広場の整備方針の検討、自由通路整備に必要となる用地や西口駐車場等候補地の調査を行うことを目的として実施。

(2) 調査の内容

①東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査

- 調査実施者：JR東日本東北工事事務所（現：JR東日本東北建設プロジェクトマネジメントオフィス）
- 調査期間：令和3年8月から令和4年6月まで（完了）
- 調査費用：13,113,650円（精算額）
- 調査内容：半橋上駅案の概略設計の見直しと概算事業費の精査、橋上駅の検討、施工計画の見直し 等

②花巻駅東西駅前広場現況調査等業務

- 調査実施者：中央コンサルタンツ(株)
- 調査期間：令和3年8月から令和4年3月まで（完了）
- 調査費用：8,272,470円（契約額）
- 調査内容：東西駅前広場交通量調査、交通事業者等へのヒアリング、課題の機能分担の整理、西口広場の整備方針の検討、西口駐車場整備の検討等

③土地鑑定評価業務

- 調査実施者：大下不動産鑑定・コンサルティング(株)
- 調査期間：令和3年12月から令和4年3月まで（完了）
- 調査費用：2,035,000円（契約額）
- 調査内容：自由通路降下部分となるJR用地を含む1 2か所を調査

(補足) 「半橋上駅」 及び 「橋上駅」 の違い

■ 半橋上駅

駅舎をホーム及び線路外の地上部に設置し、駅舎2階に改札等を設置する形態

≪メリット≫

橋上駅と比較して工事費用を抑えることができる

≪デメリット≫

西側から来る人は改札口までの移動距離が長くなる

■ 橋上駅

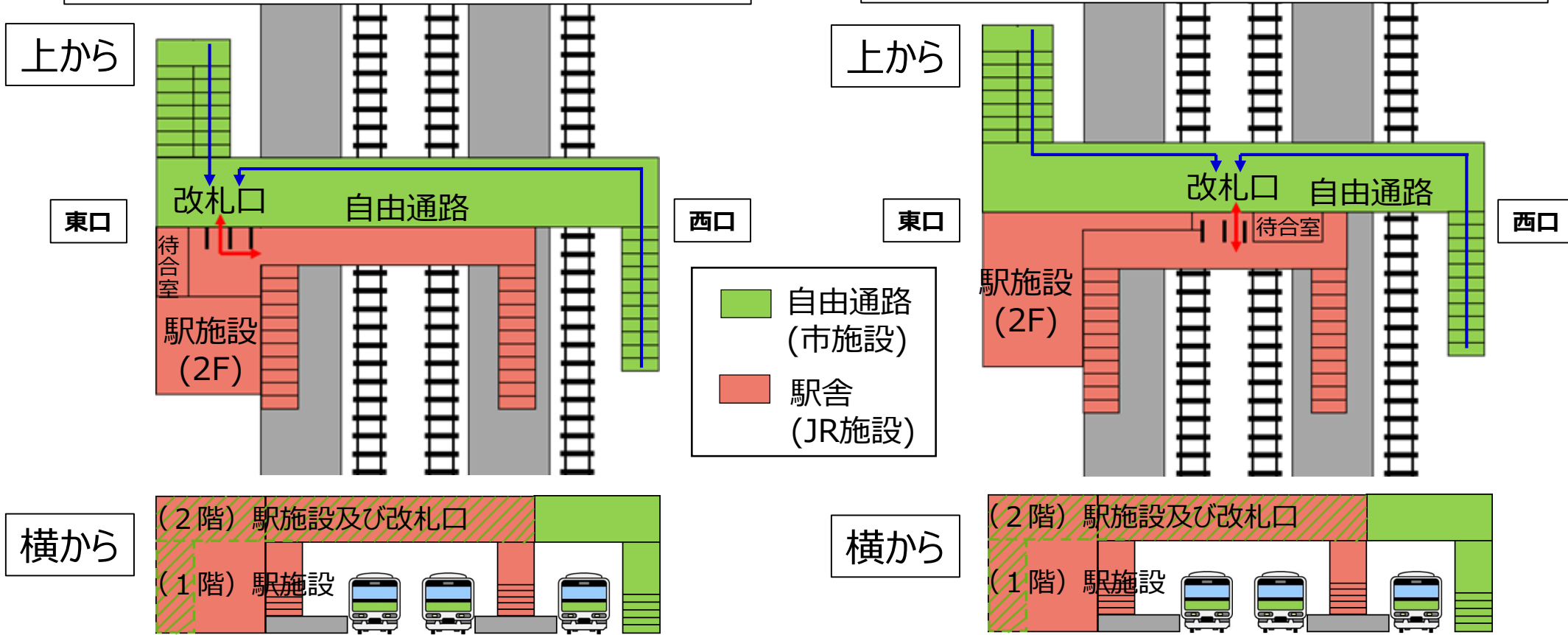
改札などの駅機能をホーム及び線路上空部に設置する形態

≪メリット≫

改札が中央にあり西側から来る人も利用しやすい

≪デメリット≫

半橋上駅と比較して工事費用が高額になる



3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(1) 調査結果 整備概要【半橋上駅】

半橋上駅(案)のイメージパース

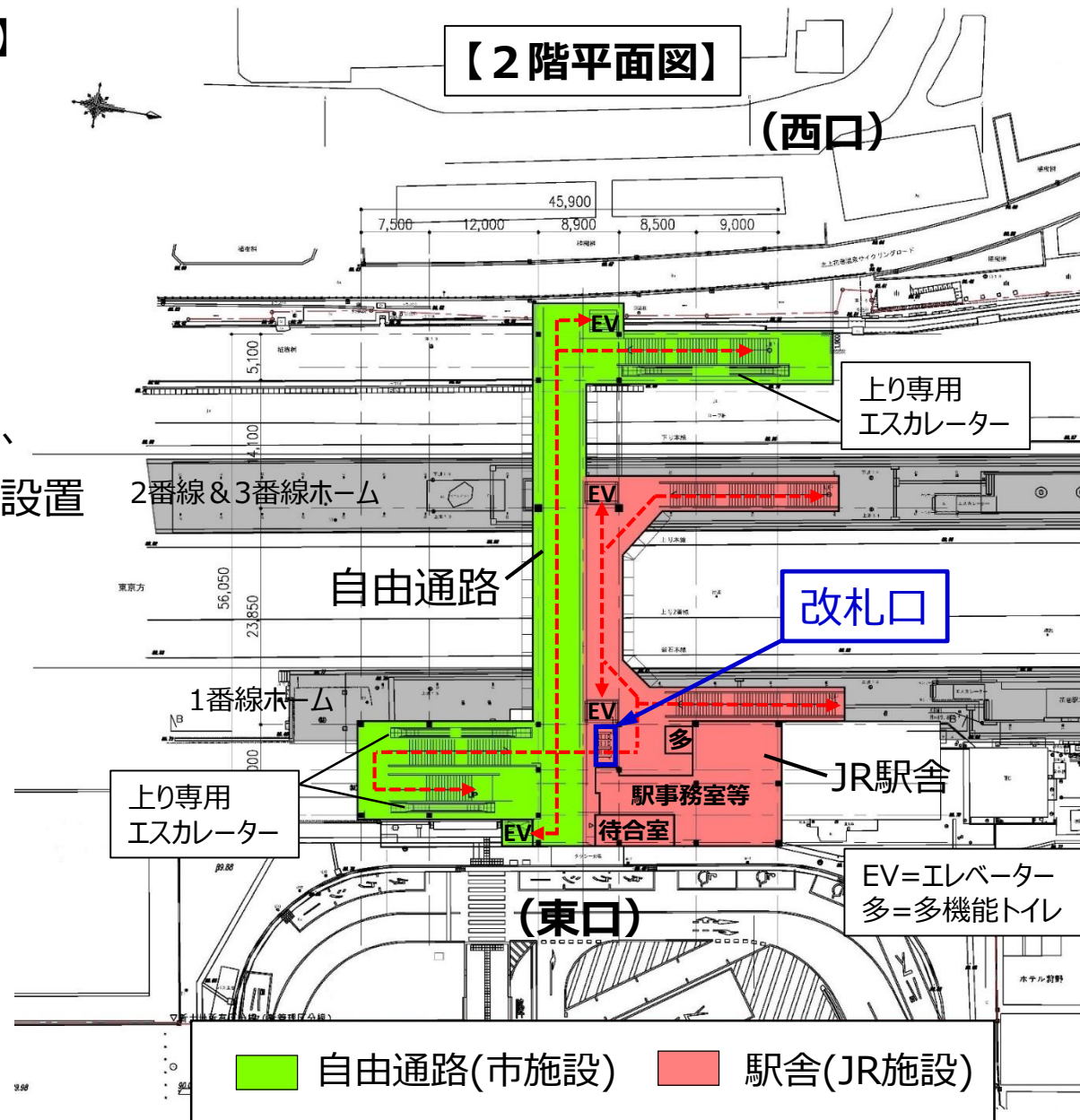


※図はイメージであり、自由通路及び駅舎の外観デザインについては基本設計段階で検討

3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(1) 調査結果 整備概要【半橋上駅】

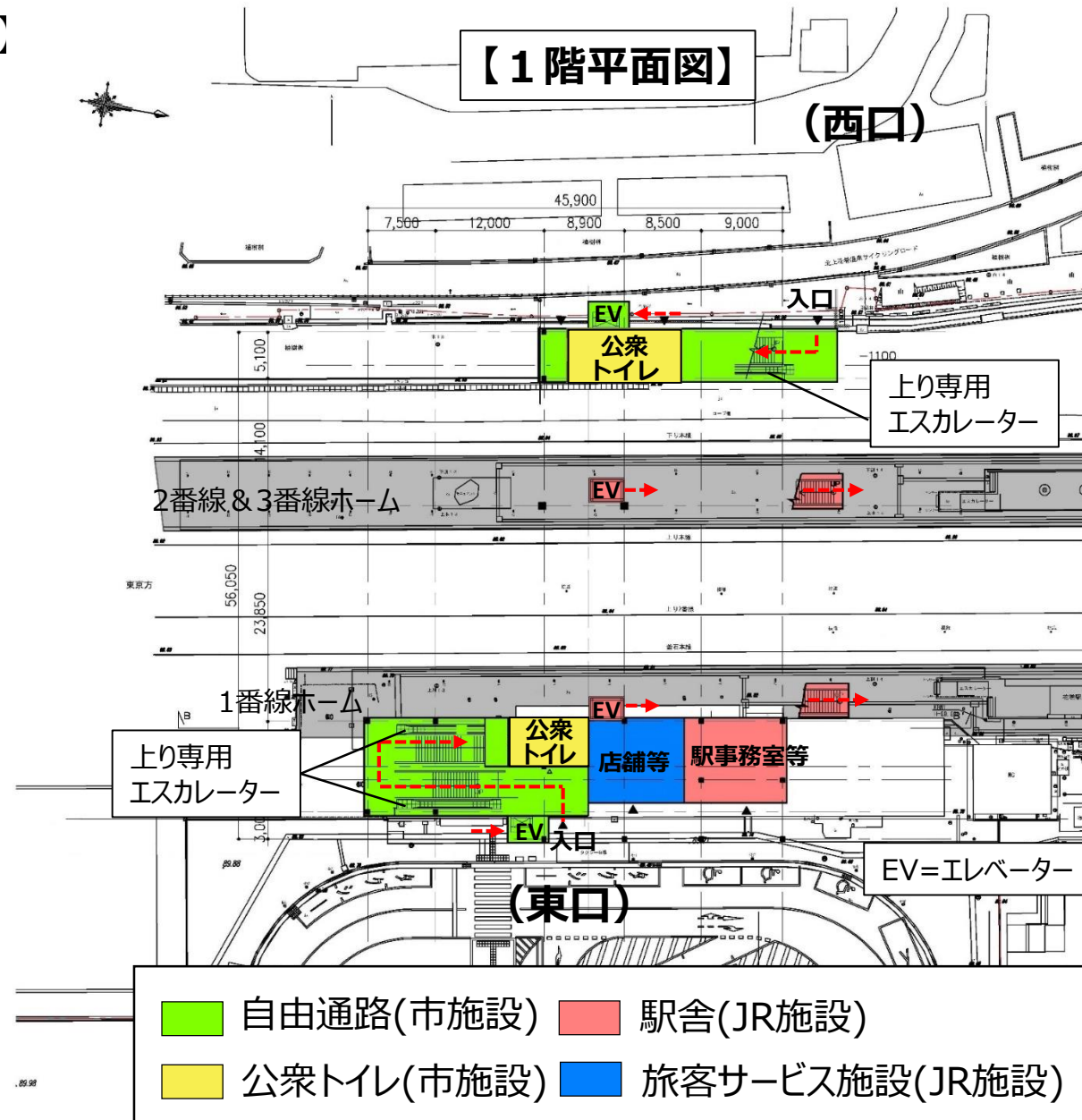
- 自由通路整備（幅員4m）
- 東口地上部に駅舎を設置（半橋上駅）
- 駅舎2階に改札を設置し、2階で自由通路と接続
- 自由通路の東西にエレベーター各1基、東西階段部に上り専用エスカレーター設置
- ホームにエレベーター各1基
- 改札内に多機能トイレを設置



3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

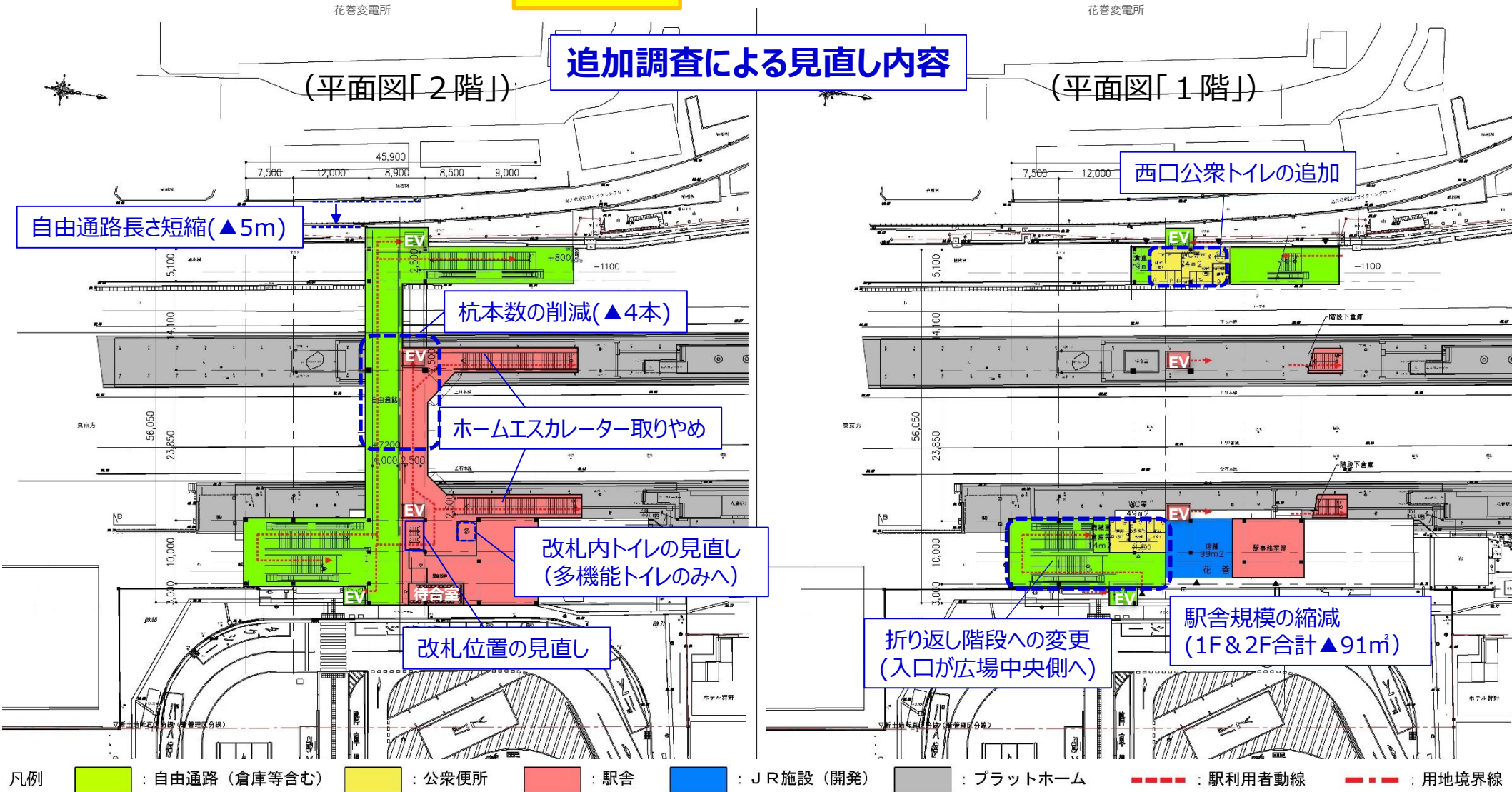
(1) 調査結果 整備概要【半橋上駅】

- ・東西に公衆トイレを設置
- ・駅舎1階に旅客サービス施設を設置
(例：コンビニ)



3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(1) 調査結果 整備概要【半橋上駅】

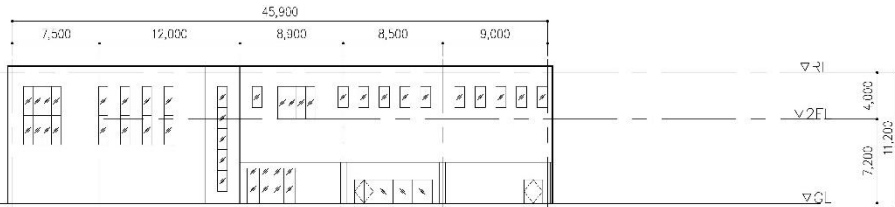


※市の意向により、自由通路東口の階段形状及び自由通路エスカレーター、西口公衆トイレについては今後見直す可能性がある。

3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

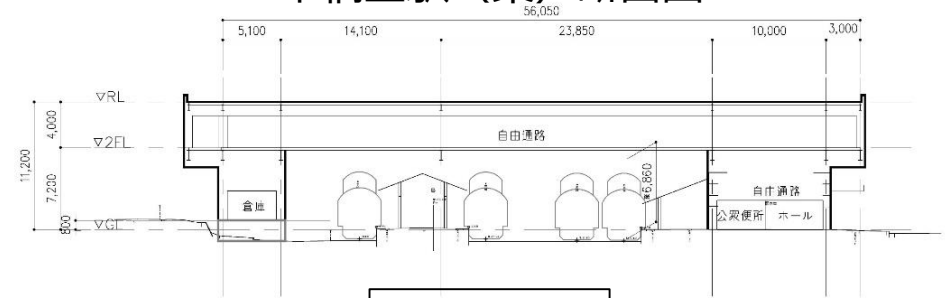
(1) 調査結果 整備概要【半橋上駅】

《半橋上駅（案）立面図》

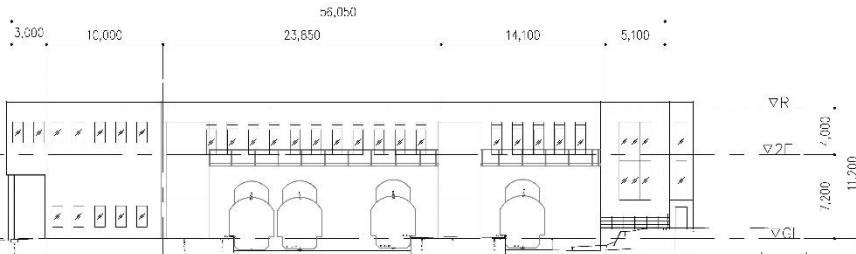


①東側立面図

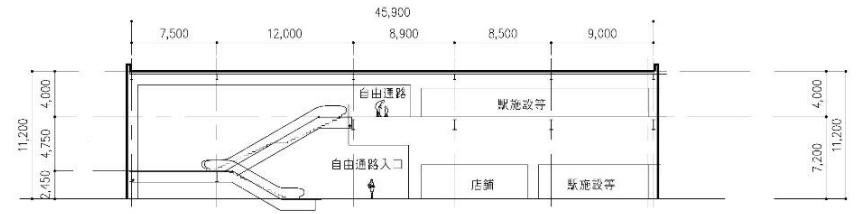
《半橋上駅（案）断面図》



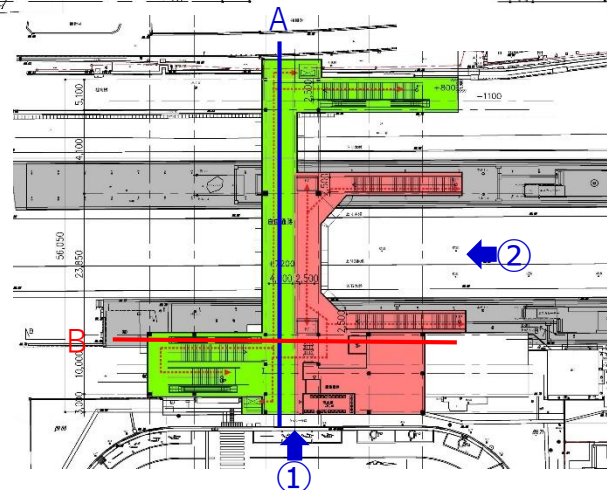
A線 断面図



②北側立面図



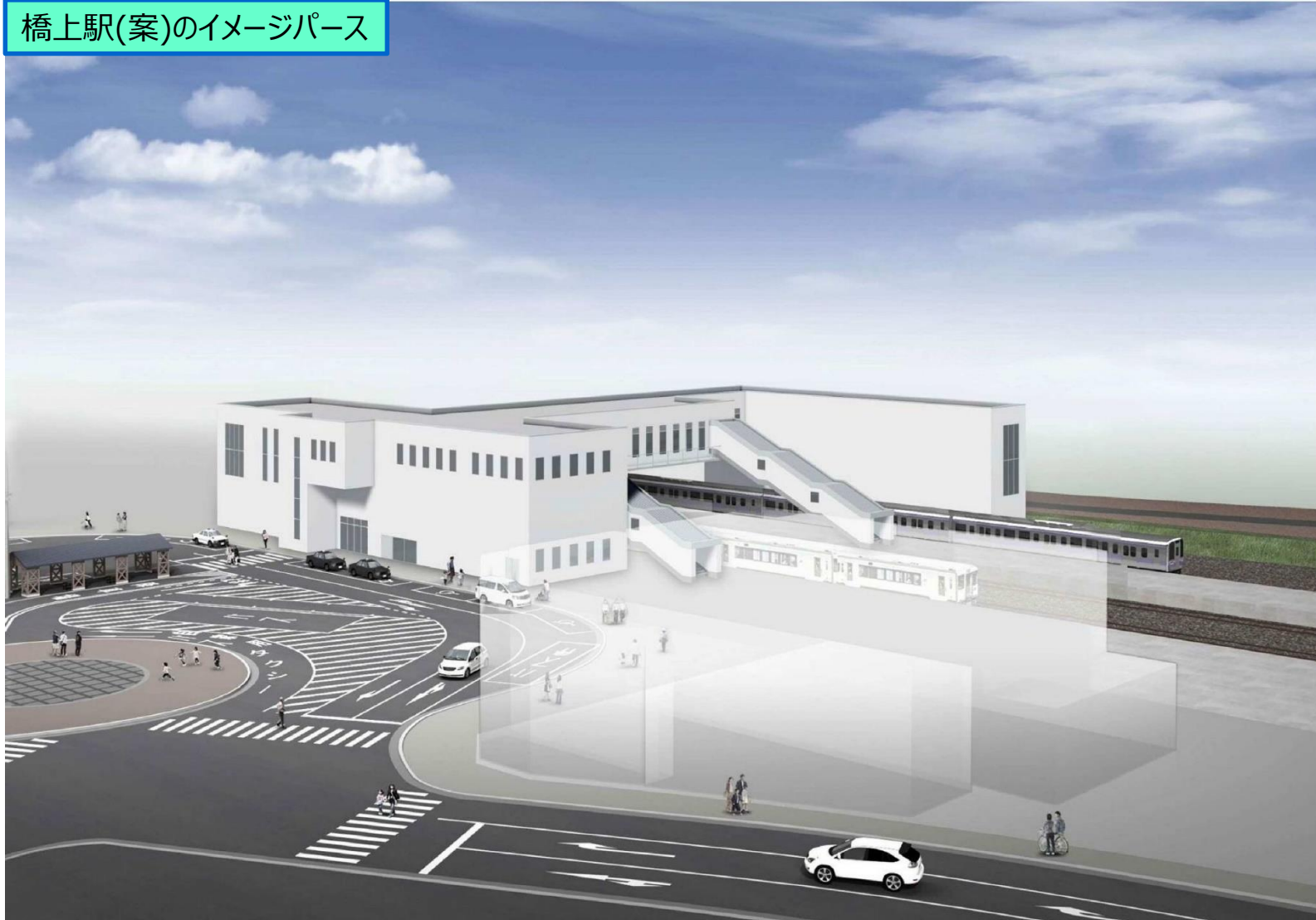
B線 断面図



3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(2) 調査結果 整備概要【 **橋上駅** 】

橋上駅(案)のイメージパース



※図はイメージであり、自由通路及び駅舎の外観デザインについては基本設計段階で検討

3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(2) 調査結果 整備概要【 **橋上駅** 】

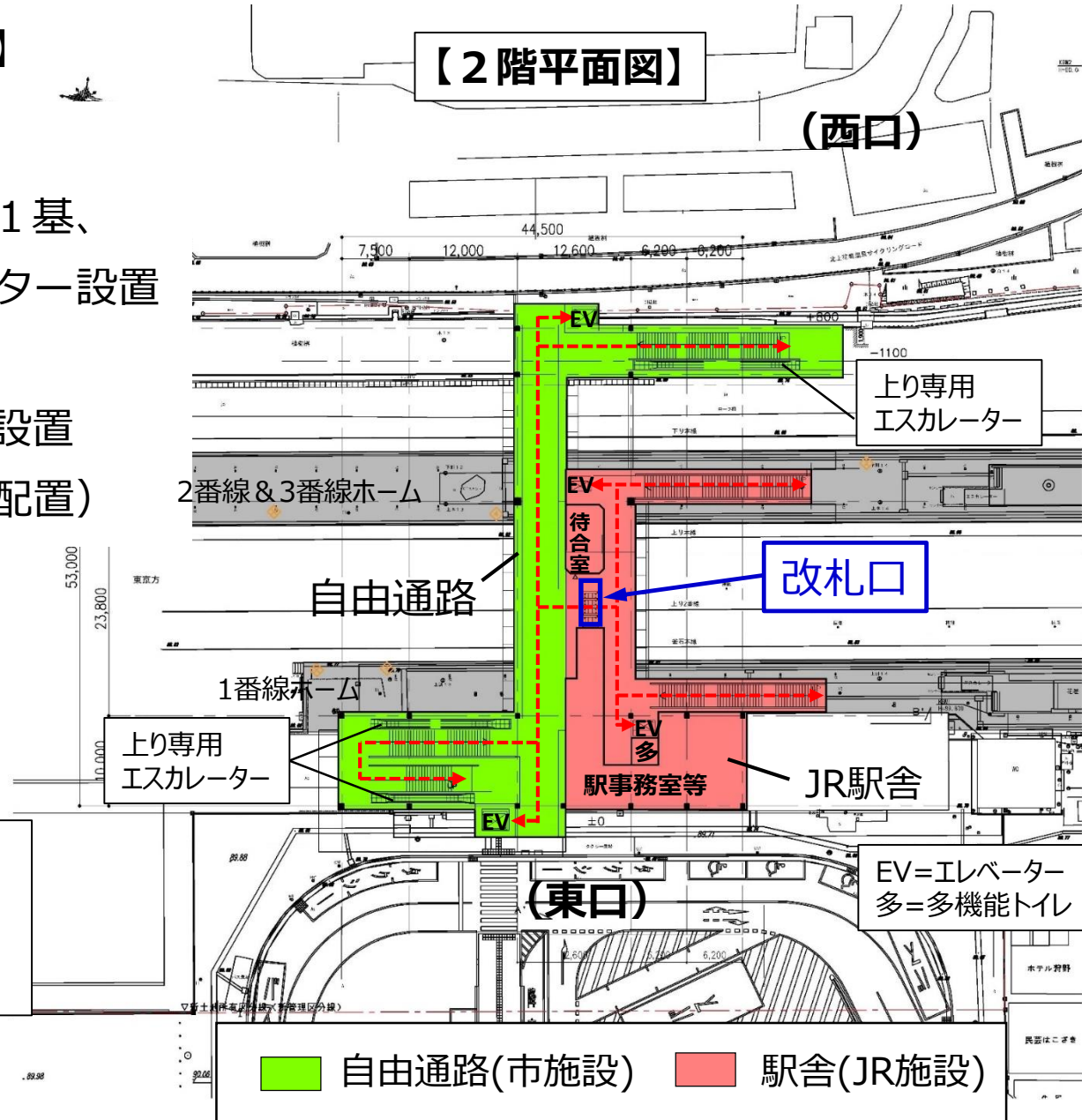
半橋上駅と同じ

- ・自由通路整備（幅員4m）
- ・自由通路の東西にエレベーター各1基、東西階段部に上り専用エスカレーター設置
- ・ホームにエレベーター各1基
- ・自由通路中央に改札口と待合室を設置（その他の駅施設は東口側の駅舎へ配置）

《半橋上駅との違い》

改札口と待合室を自由通路の**中央**に設置

※橋上駅の特徴である中央改札の良さを残しつつ、線路上空部分の面積を減らすことで費用を削減し工期を短縮

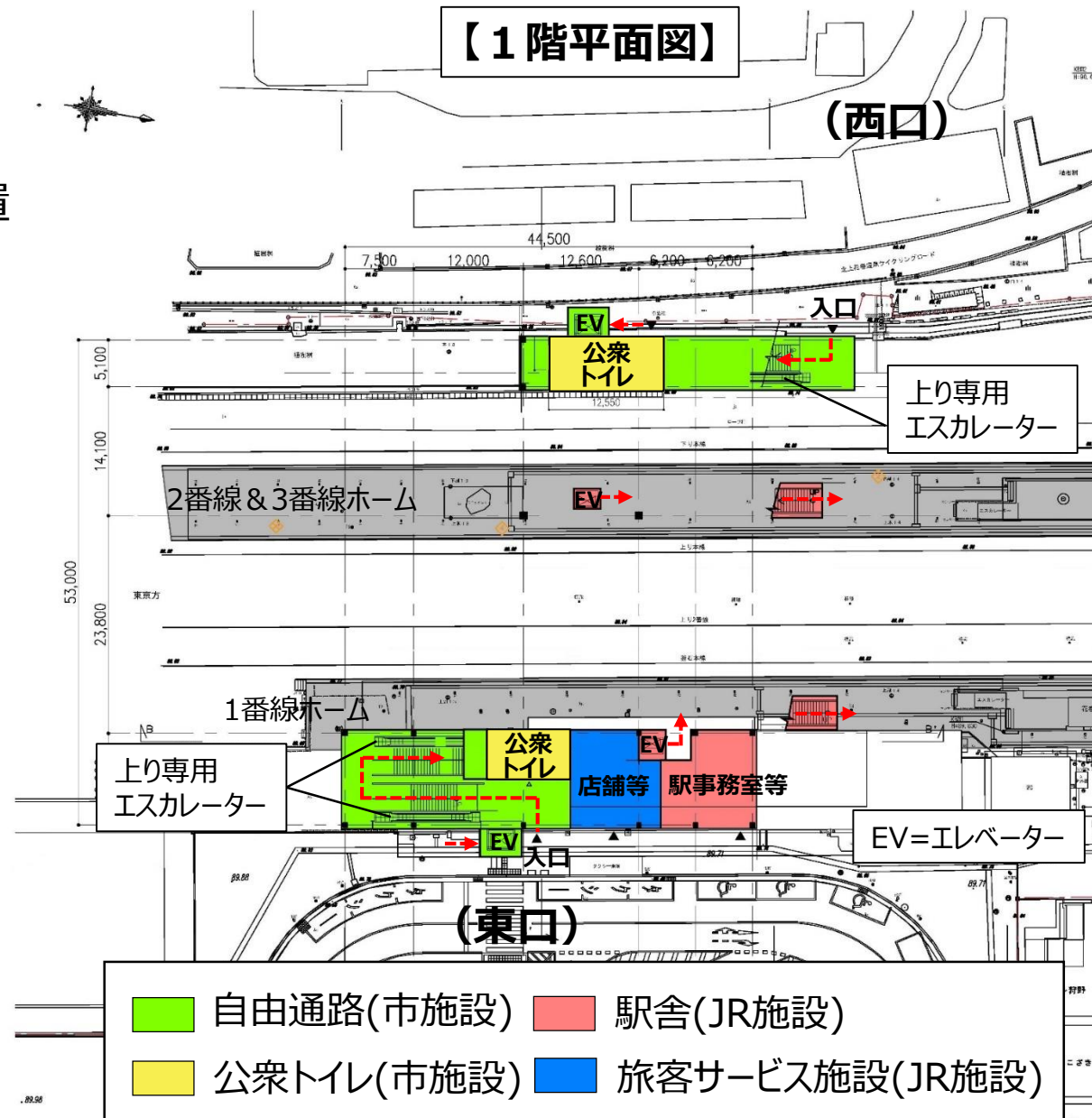


3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(2) 調査結果 整備概要【 橋上駅 】

- ・ 東西に公衆トイレを設置
- ・ 駅舎1階に旅客サービス施設を設置
(例：コンビニ)

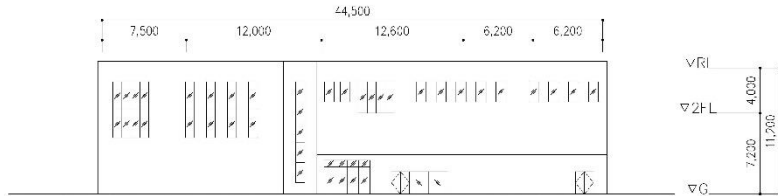
半橋上駅と同じ



3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

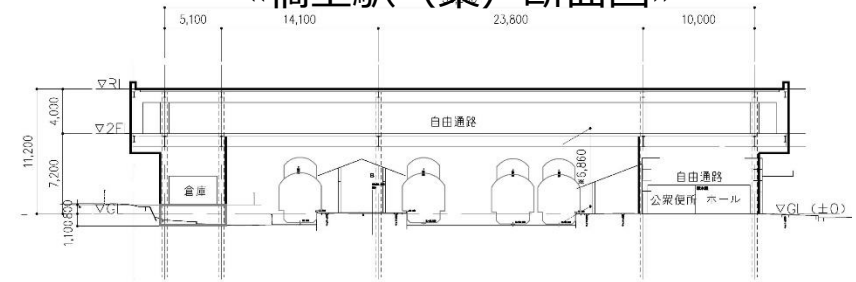
(2) 調査結果 整備概要【 **橋上駅** 】

「橋上駅（案）立面図」

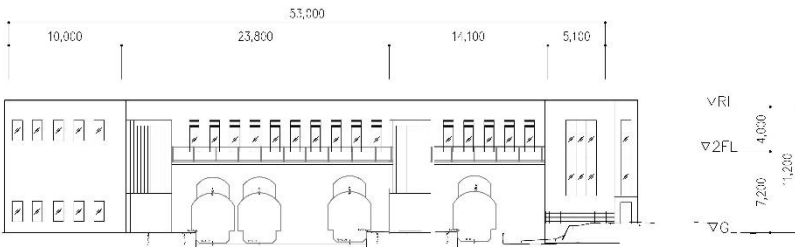


① 東側立面図

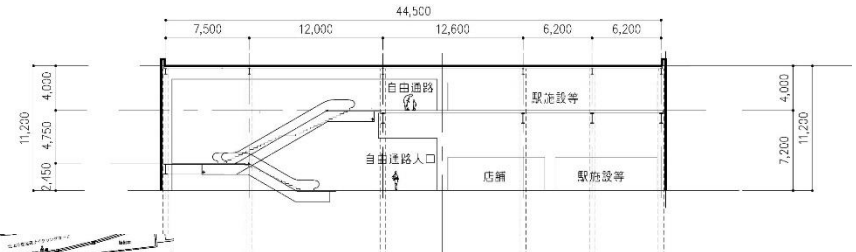
「橋上駅（案）断面図」



A線 断面図



② 北側立面図



B線 断面図



3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(3) 調査結果①-1 概算事業費【半橋上駅】

○調査前の半橋上駅(案)との比較 (物価変動分を除く)

		R1半橋上駅案 (コストダウン案)		追加調査結果 (物価変動を除く)		増減比較		増減要因
		数量	金額①	数量	金額②	数量	金額(②-①)	
自由 通路	本体	約 740 m ²	約 7.8 億円	約 834 m ²	約 8.2 億円	約 94 m ²	約 0.4 億円	・通路長さ短縮(▲5m) ▲0.3億円 ・杭本数削減(▲2本) ▲0.3億円 ・階段形状変更(+124m ²) +1.0億円
	エレベーター	2 基	約 0.6 億円	2 基	約 0.6 億円	0 基	約 0.0 億円	
	エスカレーター	2 基	約 1.0 億円	3 基	約 0.9 億円	1 基	約 ▲0.1 億円	・単価精査 ▲0.1億円
	公衆トイレ	約 60 m ²	約 0.7 億円	約 122 m ²	約 1.5 億円	約 62 m ²	約 0.8 億円	・西口公衆トイレ追加(+62m ²) +0.8億円
	小計	約 800 m ²	約 10.1 億円	約 956 m ²	約 11.2 億円	約 156 m ²	約 1.1 億円	
鉄道 施設	本体	約 810 m ²	約 10.5 億円	約 729 m ²	約 9.9 億円	約 ▲81 m ²	約 ▲0.6 億円	・規模縮減(▲81m ²) ▲0.3億円 ・杭本数削減(▲2本) ▲0.3億円
	エレベーター	2 基	約 0.7 億円	2 基	約 0.5 億円	0 基	約 ▲0.2 億円	・単価精査 ▲0.2億円
	エスカレーター	2 基	約 0.8 億円	0 基	0.0 億円	▲2 基	約 ▲0.8 億円	・駅舎ESC取止め(▲2基) ▲0.8億円
	支障移転	1 式	約 7.0 億円	1 式	約 6.8 億円	0 式	約 ▲0.2 億円	・ホーム上屋支障範囲見直し ▲0.2億円
	JR施設(補償分)	約 110 m ²	約 1.0 億円	約 100 m ²	約 0.9 億円	約 ▲10 m ²	約 ▲0.1 億円	・規模縮減(▲10m ²) ▲0.1億円
	小計	約 920 m ²	約 20.0 億円	約 829 m ²	約 18.1 億円	約 ▲91 m ²	約 ▲1.9 億円	
	基本設計	1 式	約 0.5 億円	1 式	約 0.5 億円	0 式	約 0.0 億円	
	実施設計	1 式	約 1.2 億円	1 式	約 1.3 億円	0 式	約 0.1 億円	・階段形状変更・西口トイレ追加 +0.1億円
	リスク費	1 式	約 1.7 億円	1 式	約 1.6 億円	0 式	約 ▲0.1 億円	・駅舎規模縮減に伴う減 ▲0.1億円
	概算事業費合計		約 33.5 億円		約 32.7 億円		約 ▲0.8 億円	

※令和元年のコストダウン案の整備費は、調査により精査されたもの。

※青字は増加要因

3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(3) 調査結果①-2 概算事業費【半橋上駅】

		追加調査結果 (物価変動を除く)		2020年時までの 物価変動分	合計
		数量	金額①	金額②	金額(①+②)
自由 通路	本体	約 834 m ²	約 8.2 億円	約 0.2 億円	約 8.4 億円
	エレベーター	2 基	約 0.6 億円		約 0.6 億円
	エスカレーター	3 基	約 0.9 億円		約 0.9 億円
	公衆トイレ	約 122 m ²	約 1.5 億円		約 1.5 億円
	小計	約 956 m ²	約 11.2 億円		約 11.2 億円
鉄道 施設	本体	約 729 m ²	約 9.9 億円	約 0.3 億円	約 10.2 億円
	エレベーター	2 基	約 0.5 億円		約 0.5 億円
	エスカレーター	0 基	0.0 億円		0.0 億円
	支障移転	1 式	約 6.8 億円	約 0.3 億円	約 7.1 億円
	JR施設(補償分)	約 100 m ²	約 0.9 億円		約 0.9 億円
	小計	約 829 m ²	約 18.1 億円		約 18.1 億円
基本設計		1 式	約 0.5 億円	約 0.3 億円	約 0.8 億円
実施設計		1 式	約 1.3 億円	約 0.4 億円	約 1.7 億円
リスク費		1 式	約 1.6 億円	約 0.2 億円	約 1.8 億円
概算事業費合計			約 32.7 億円	約 1.7 億円	約 34.4 億円

2020年時までの物価変動
を加算した概算事業費

約34.4億円

国庫補助金
(都市構造再編
集中支援事業)

15.65

市負担

16.95

リスク費 1.8

市負担に合併特例
債(充当率95%)を
活用した場合

交付税措置額
(返済額の70%)

11.27

市の実質負担

5.68

令和元年の半橋上駅案

約33.5億円

国庫補助金
(都市構造再編
集中支援事業)

14.95

市負担

16.85

リスク費 1.7

市負担に合併特例
債(充当率95%)を
活用した場合

交付税措置額
(返済額の70%)

11.20

市の実質負担

5.65

- ※今後の物価変動の状況により整備費は変動となる。2020年時までの変動分+1.7億円を加算すると整備費は34.4億円となる。
- ※既存こ線橋撤去費約4億円については、既存こ線橋が自由通路整備に支障しないため、整備費用に含めない（JR負担として協議）。
- ※リスク費は、施工時の地中障害等の不測の事態に備える費用であり、必ずしも発生する費用ではない。
- ※2020年時までの物価変動分の設計費の増分には設計業務報酬基準の改正(国土交通省告示第98号)の増分を含む。
- ※令和元年の半橋上駅案と比較し国庫補助額が増えた理由は、公衆トイレについて国との確認協議により補助対象となることが確認できたことから補助対象として計上したため。
- ※自由通路の東西降下部分の用地については、整備面積確定後に購入する必要がある。

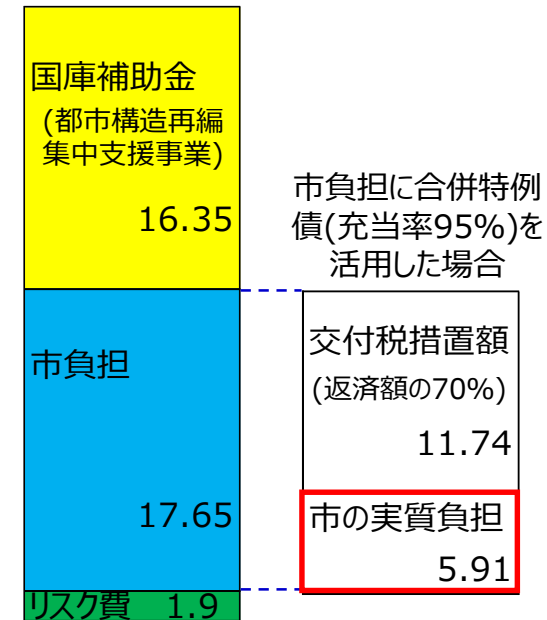
3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(3) 調査結果② 概算事業費【橋上駅】

		追加調査結果 (物価変動を除く)		2020年時までの 物価変動分	合計
		数量	金額②	金額	金額(①+②)
自由 通路	本体	約 851 m ²	約 8.5 億円	約 0.4 億円	約 8.9 億円
	エレベーター	2 基	約 0.6 億円		約 0.6 億円
	エスカレーター	3 基	約 0.9 億円		約 0.9 億円
	公衆トイレ	約 123 m ²	約 1.5 億円		約 1.5 億円
	小計	約 974 m ²	約 11.5 億円		約 11.5 億円
鉄 道 施 設	本体	約 692 m ²	約 10.2 億円	約 0.6 億円	約 10.8 億円
	エレベーター	2 基	約 0.5 億円		約 0.5 億円
	エスカレーター	0 基	0.0 億円		0.0 億円
	支障移転	1 式	約 6.9 億円	約 0.5 億円	約 7.4 億円
	JR施設(補償分)	約 99 m ²	約 0.9 億円		約 0.9 億円
小計	約 791 m ²	約 18.5 億円		約 18.5 億円	
	基本設計	1 式	約 0.5 億円	約 0.3 億円	約 0.8 億円
	実施設計	1 式	約 1.3 億円	約 0.4 億円	約 1.7 億円
	リスク費	1 式	約 1.7 億円	約 0.2 億円	約 1.9 億円
概算事業費合計			約 33.5 億円	約 2.4 億円	約 35.9 億円

2020年時までの物価変動
を加算した概算事業費

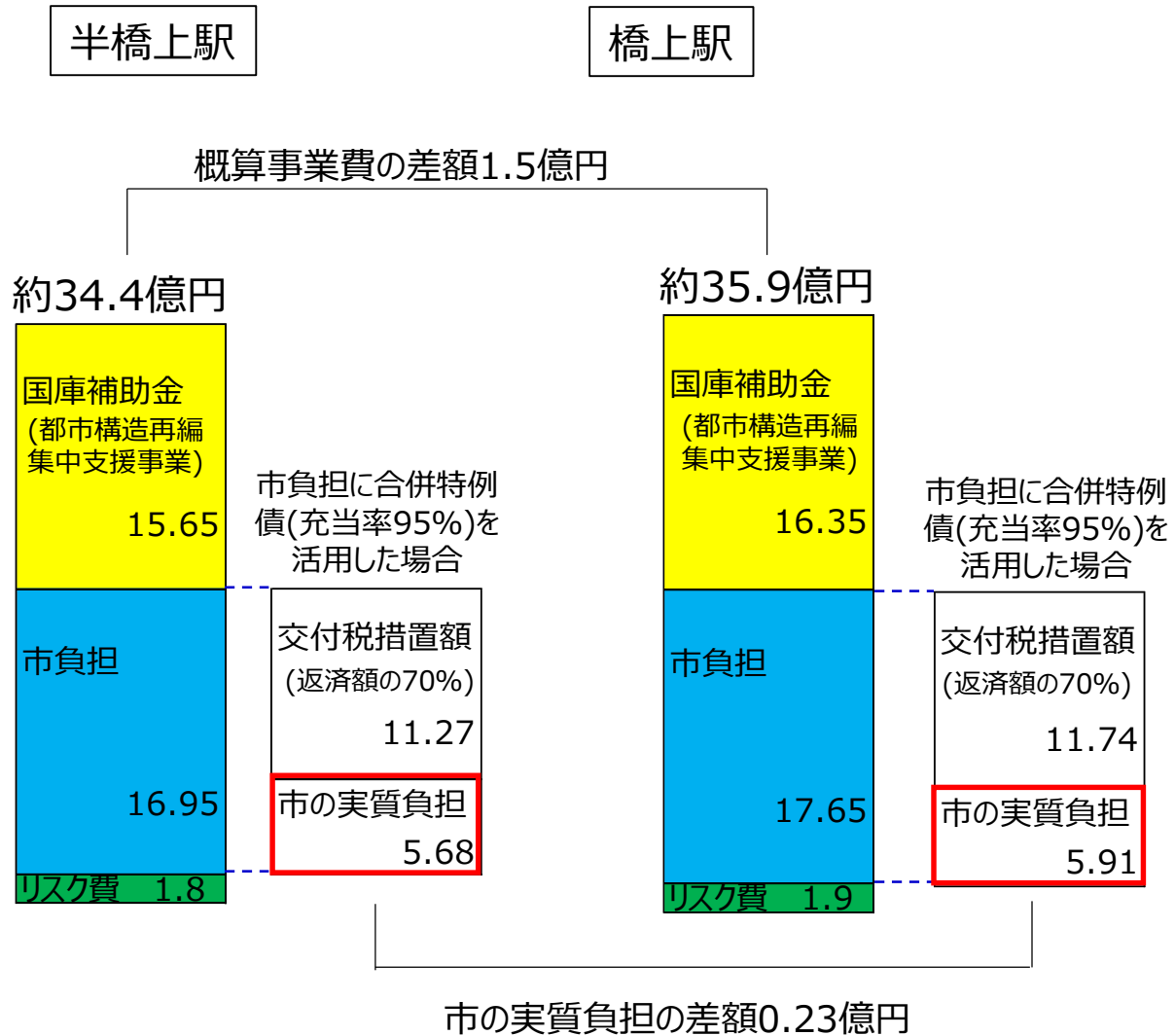
約35.9億円



- ※今後の物価変動の状況により整備費は変動となる。仮に2020年時までの変動分+2.4億円を加算すると整備費は35.9億円となる。
- ※既存こ線橋撤去費約4億円については、既存こ線橋が自由通路整備に支障しないため、整備費用に含めない（JR負担として協議）。
- ※リスク費は、施工時の地中障害等の不測の事態に備える費用であり、必ずしも発生する費用ではない。
- ※2020年時までの物価変動分の設計費の増分には設計業務報酬基準の改正(国土交通省告示第98号)の増分を含む。
- ※自由通路の東西降下部分の用地については、整備面積確定後に購入する必要がある。

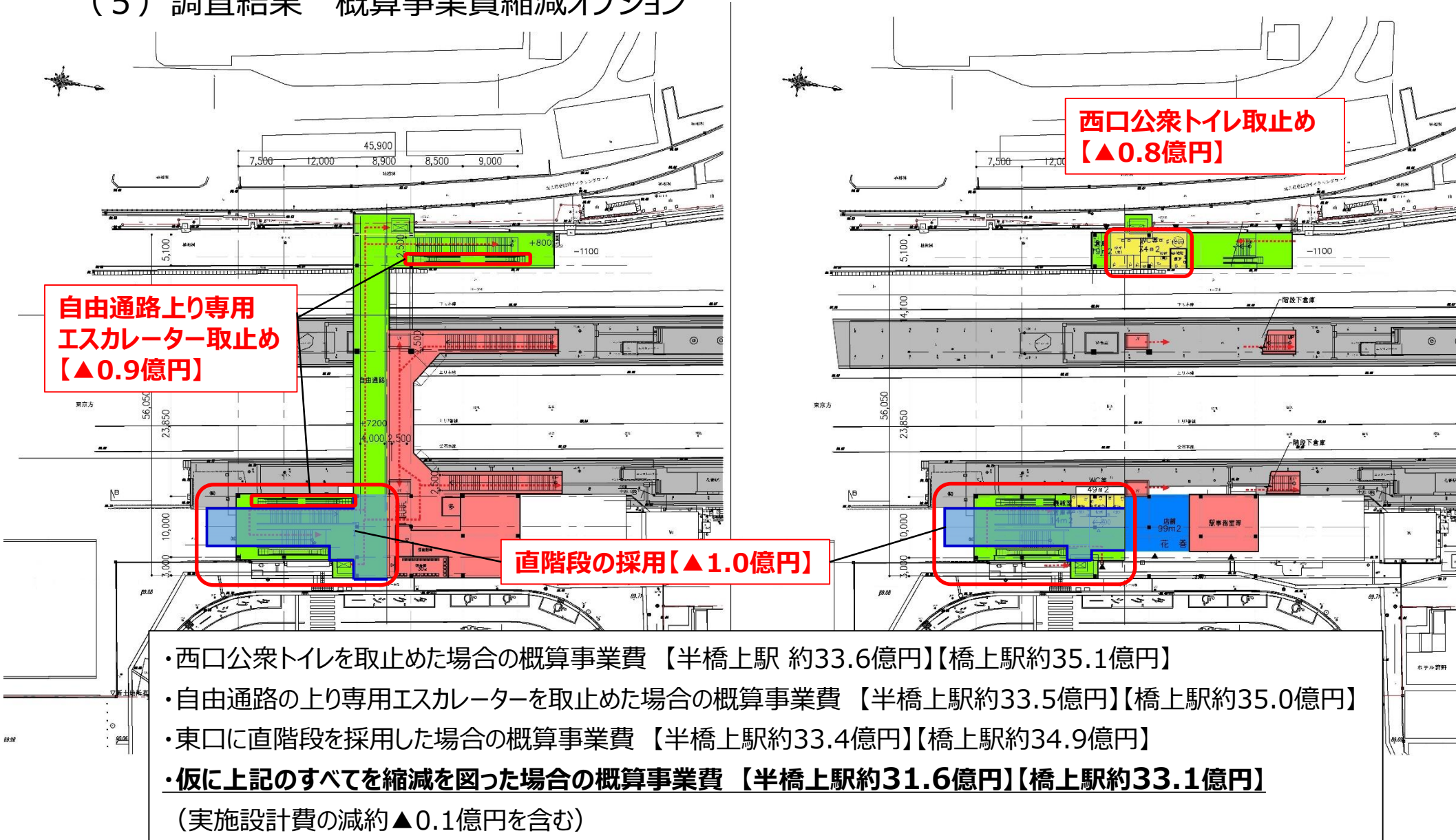
3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(4) 調査結果 **半橋上駅** と **橋上駅** の概算事業費比較



3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(5) 調査結果 概算事業費縮減オプション



3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(6) 調査結果① 完成までの概略スケジュール【 半橋上駅 】

調査前の半橋上駅案	1年目				2年目				3年目				4年目				5年目				6年目				7年目							
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV				
	▼基本協定締結 ▼基本設計協定 基本設計				協定手続				▼実施設計協定 実施設計				協定手続 施工準備				▼施工協定 支障移転工事 仮駅工事				本体工事				▼自由通路都市計画決定				▼自由通路 & 駅供用開始 仮駅撤去工事			

調査後の半橋上駅案	1年目(R5)				2年目(R6)				3年目(R7)				4年目(R8)				5年目(R9)				6年目(R10)				7年目(R11)			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	▼基本協定締結 ▼基本設計協定 基本設計				協定手続				▼実施設計協定 実施設計				協定手続 施工準備				▼施工協定 支障移転工事 仮駅工事				本体工事				▼自由通路 & 駅供用開始 仮駅撤去工事			
	都市再生整備計画作成(補助金申請) ▼自由通路都市計画決定																											

※国の補助金(都市構造再編集集中支援事業)を活用するためには、都市再生整備計画を作成する必要があり、計画策定の翌年度から概ね5年以内の計画期間とする必要がある。

※1年目に基本設計と並行して都市再生整備計画を策定することで、実施設計から事業完了まで5年以内に収めることができる。

3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(6) 調査結果② 完成までの概略スケジュール【 **橋上駅** 】

	1年目(R5)				2年目(R6)				3年目(R7)				4年目(R8)				5年目(R9)				6年目(R10)				7年目(R11)										
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV							
橋上駅案	▼基本協定締結																																		
	▼基本設計協定				▼実施設計協定				▼施工協定																										
	基本設計				協定手続				協定手続				支障移転工事																						
	都市再生整備計画作成(補助金申請)				実施設計				施工準備				仮駅工事				本体工事				仮駅撤去工事														
																▼自由通路都市計画決定																			
																				▼自由通路 & 駅供用開始															

※国の補助金(都市構造再編集集中支援事業)を活用するためには、都市再生整備計画を作成する必要があり、計画策定の翌年度から概ね5年以内の計画期間とする必要がある。

※1年目に基本設計と並行して都市再生整備計画を策定することで、実施設計から事業完了まで5年以内に収めることができる。

3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(7) 自由通路の維持管理費について

【日常的な維持管理費用（年間費用）】

- 「自由通路」は市の施設となり、日常的な維持管理については、市の負担で市が管理。
- JRの駅舎はJRの施設となり、駅舎の維持管理については、JRの負担でJRが管理（市は負担しない）。
- 「自由通路」の日常的な清掃や電気代、エレベーター点検費用などの年間維持費用は、**約1,300万円**(うちエスカレーター保守費約220万円)/**年**と試算。
- 「自由通路」のエレベーター、エスカレーターの点検についても市の施設となるため、市で実施。
 - ※定期点検の結果、更新が必要な場合は、市で更新。（JR確認済）
 - ※エレベーター・エスカレーターの更新目安：20年
 - ※エレベーター更新費用（2基）約1,200万円/基、エスカレーター更新費用（2基）約2,000万円/基

【長期的な保守・点検】

- 「自由通路」は、市の施設となり長期的な保守・点検についても市の負担で実施。
- JRの駅舎はJRの施設となり、駅舎の長期的な保守・点検についても、JRの負担でJRが実施（市は負担しない）。
- 「自由通路」の点検については、道路法施行規則により5年に1度、近接目視を基本とする点検が義務。
 - ※JRによると、点検方法は線路を跨ぐほかの橋梁と同じであり、当市においても、JR線路を跨ぐ橋梁の点検実績あり。
 - ※点検により把握した損傷、腐食その他の異常については、早期のうちに対応。
 - ※JRによると外壁塗装については、焼き付け塗装を採用。頻繁な塗装は必要とせず、検査の状況により対応。
 - ※現計画の自由通路（点検延長約45m）**5年に1度の点検費用 8,085千円**（JR見積もり）

3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(8) 【参考】既存駅舎を活用し（残したまま）自由通路を整備する場合

※協定による調査とは別にJR東日本において既存駅舎を活用する場合の案を検討したもの

○整備概要略図

自由通路併設の
公衆トイレなし

自由通路上り専用
エスカレーター設置

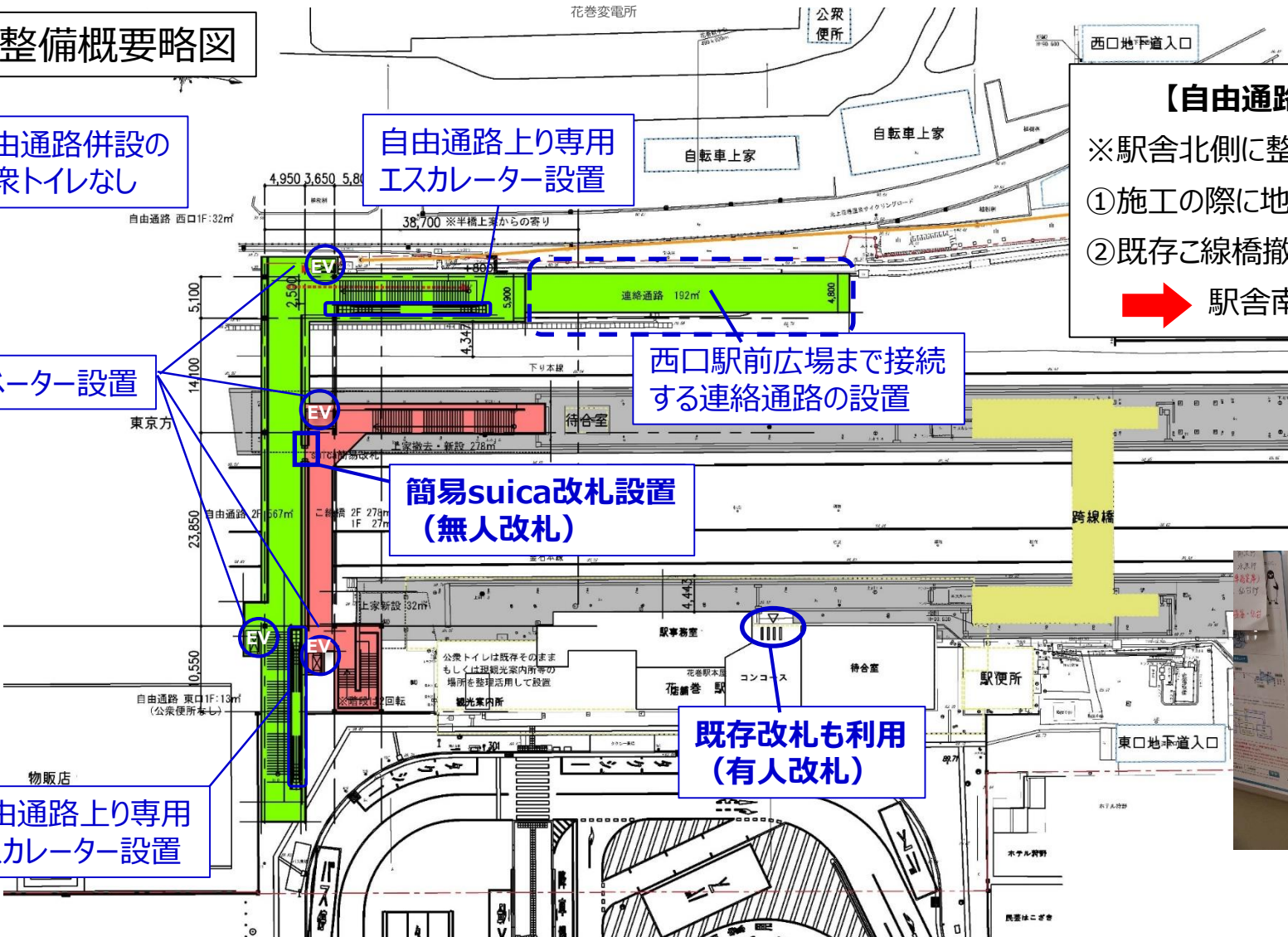
エレベーター設置

簡易suica改札設置
(無人改札)

自由通路上り専用
エスカレーター設置

既存改札も利用
(有人改札)

西口駅前広場まで接続
する連絡通路の設置



【自由通路の設置位置について】

※駅舎北側に整備する場合

- ①施工の際に地下道を使用できなくなる
- ②既存ご線橋撤去及び仮ご線橋設置が必要

➡ 駅舎南側への配置が必要

簡易Suica改札
(写真は平泉駅)

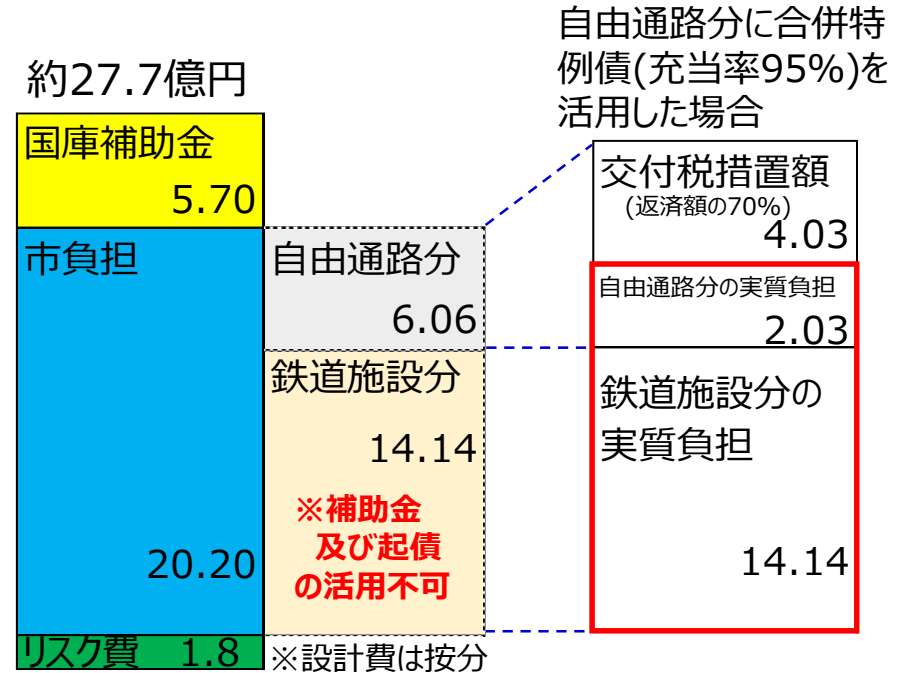


3. 東北本線花巻駅周辺整備基本計画に係る追加基本計画調査の結果

(8) 【参考】既存駅舎を活用し(残したまま)自由通路を整備する場合

○概算事業費 - 半橋上駅案との比較 -

		半橋上駅案 (2020年までの 物価変動込み)	既存駅舎活用案 (増減試算)	備考
自由 通路	本体	約 8.4 億円	約 ▲1.0 億円	直階段を想定
	エレベーター	約 0.6 億円	-	ほぼ同額を想定
	エスカレーター	約 0.9 億円	-	ほぼ同額を想定
	公衆トイレ	約 1.5 億円	約 ▲1.5 億円	公衆トイレなしを想定
	西口連絡通路		約 1.7 億円	追加(額は想定)
	小計	約 11.4 億円	約 ▲0.8 億円	
鉄道 施設	駅舎・こ線橋・支障物	約 17.8 億円	約 ▲4~6 億円	駅舎分差引き
	JR施設(補償分)	約 0.9 億円	約 ▲0.9 億円	取止め
	小計	約 18.7 億円	約 ▲5~7 億円	
	基本設計	約 0.8 億円	-	微減程度を想定
	実施設計	約 1.7 億円	-	微減程度を想定
	リスク費	約 1.8 億円	-	微減程度を想定
概算事業費合計		約 34.4 億円	約 ▲6~8 億円	



各項目の中間値を採用した場合の概算事業費 **約27.7億円**

市の実質負担 16.17億円(2.03+14.14)

※国庫補助や起債の対象となるのは、自由通路整備の支障となる施設のみ

※新設するこ線橋は、自由通路整備に支障しない鉄道施設(JR所有施設)であるため国庫補助や起債の対象外

➡ 市の一般財源により対応する必要

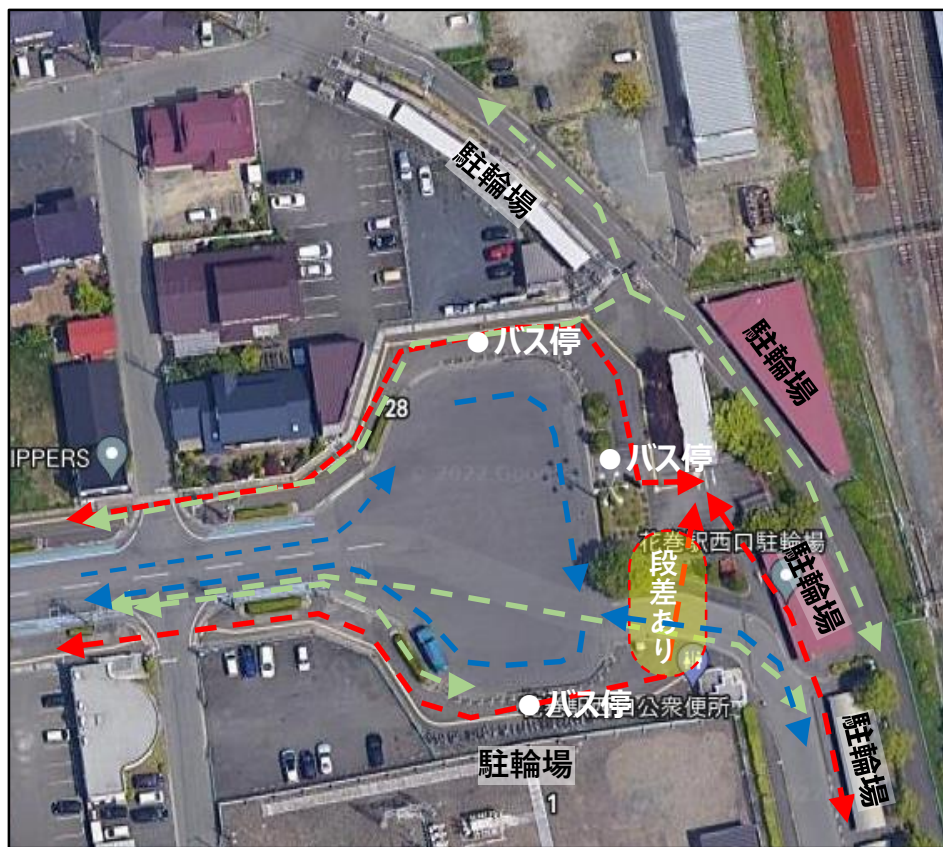
※自由通路分に国庫補助と合併特例債を利用した場合の市の実質負担額は、約16.17億円

4. 花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について

(1) 西口駅前広場に関する現状の課題

現地調査や交通量調査、交通事業者等へのヒヤリング結果等を踏まえ、J R 花巻駅西口広場再整備に関する土地利用や交通機能等について課題を抽出・整理

〈西口広場周辺における利用者の動線〉



--- 歩行者動線 --- 自転車動線 --- 自動車動線

【抽出された課題と対策】

- ①西口に一般車用の駐車場がない
➔一般車用の駐車スペースの確保
- ②バス停や一般車の停車スペースなど車両動線等が明示されていない
- ③自転車がロータリー内を通過している
➔各交通が適正に利用できる空間の整備
- ④バス停にベンチや屋根付きの待機所がない
➔利用者の利便性に配慮した空間の整備が必要
- ⑤歩行者動線に点字ブロックがない
- ⑥段差があるなどバリアフリー化がされていない
➔誰もが利用しやすいバリアフリー化の推進
- ⑦西口から直接駅の改札に行けない
➔西口における乗り換え機能の確保

4. 花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について

(2) 西口駅前広場の整備方針の設定について

基本方針 1 : 駅東西の役割を踏まえた交通結節機能の強化

- ・ 車両動線や停車スペースの区画線明示や案内表示等による利用者に分かりやすい広場整備
- ・ ロータリー内交通を優先することによる動線（歩行者、自動車、自転車）の交錯解消及び安全性の確保

基本方針 2 : 市民の利便性に配慮した駅前広場空間の構築

- ・ 一般車両の滞留スペース整備による朝夕の渋滞解消
- ・ 高校生などの利用動線を踏まえた駐輪場整備及び駐輪台数の確保

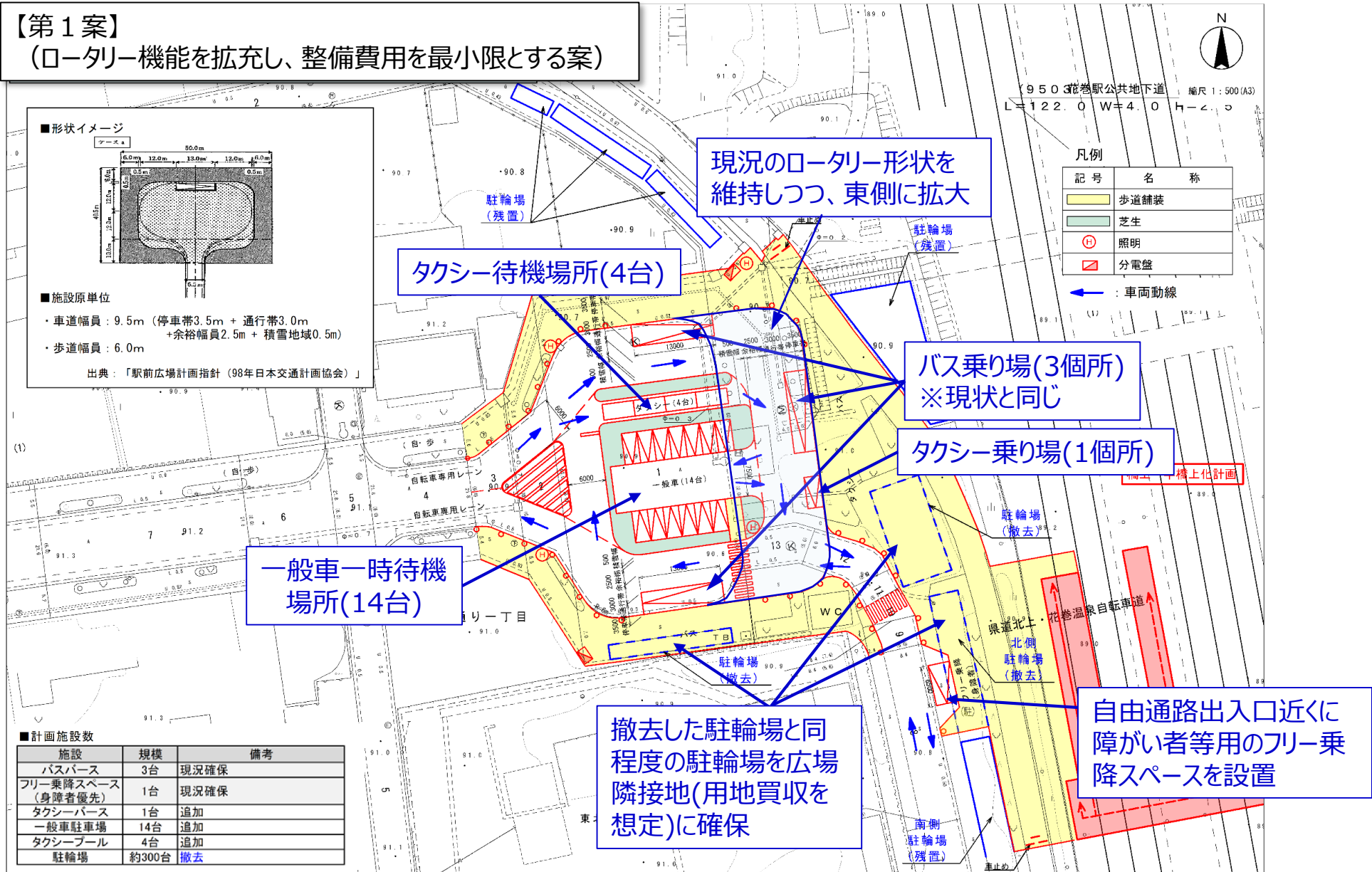
基本方針 3 : 駅前広場の待合・滞留機能の向上

- ・ 駐輪場の撤去・移設による、ゆとりのある歩道・広場幅員の確保
- ・ 乗換待ちや休憩のための快適なスペースの創出
- ・ 悪天候時に利用できる屋根付きの待合・休憩スペースの設置
- ・ 段差の解消などによるバリアフリー化の推進

➡ 上記3つの基本方針に基づき、3つ整備案を作成（第1案～第3案） ※次ページ以降

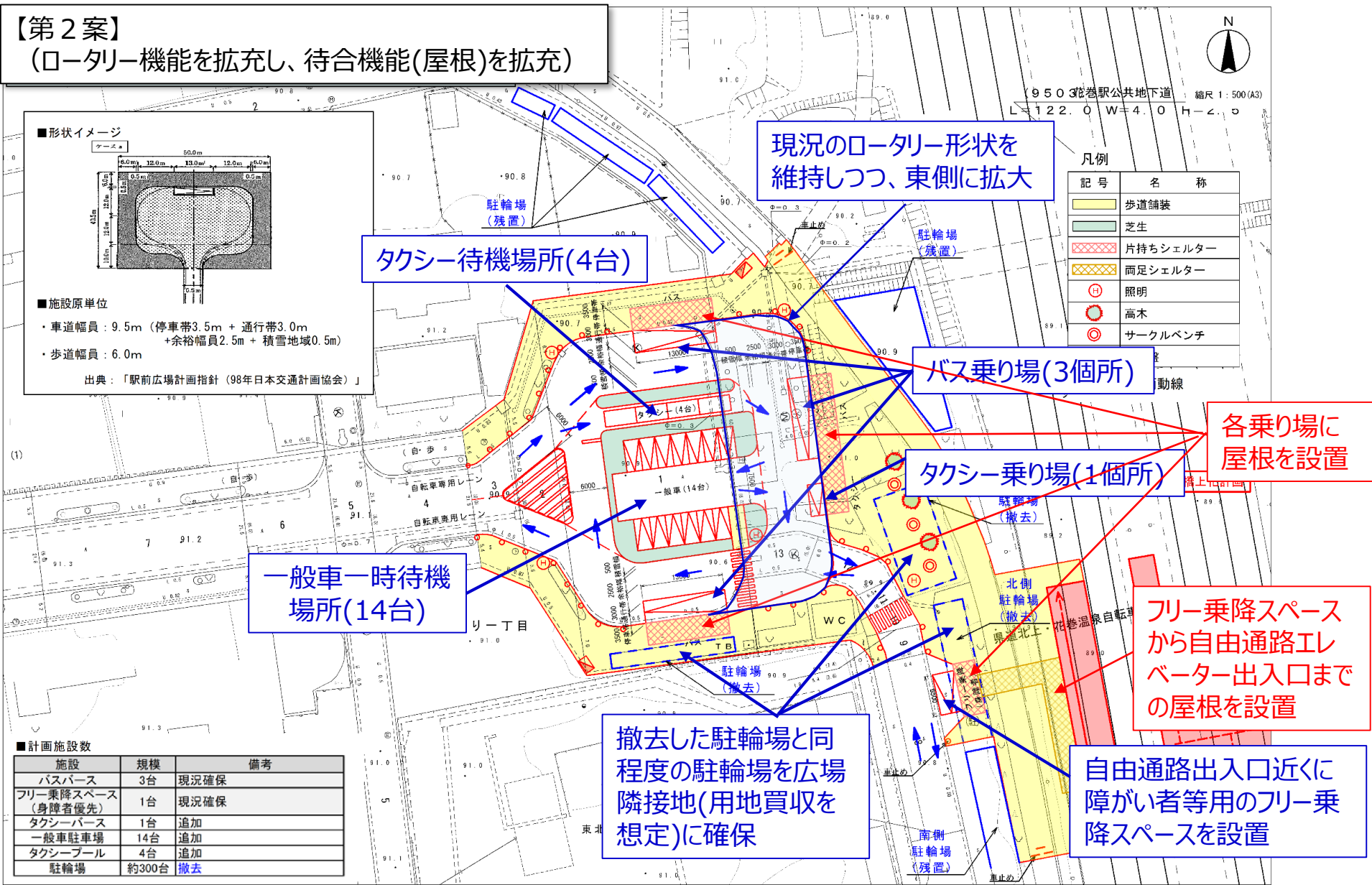
4. 花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について — 3つの整備案 —

【第1案】 (ロータリー機能を拡充し、整備費用を最小限とする案)



4. 花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について - 3つの整備案 -

【第2案】 (ロータリー機能を拡充し、待合機能(屋根)を拡充)



■形状イメージ

■施設原単位

- ・車道幅員：9.5m (停車帯3.5m + 通行帯3.0m + 余裕幅員2.5m + 積雪地域0.5m)
- ・歩道幅員：6.0m

出典：「駅前広場計画指針（98年日本交通計画協会）」

凡例

記号	名称
	歩道舗装
	芝生
	片持ちシェルター
	両足シェルター
	照明
	高木
	サークルベンチ

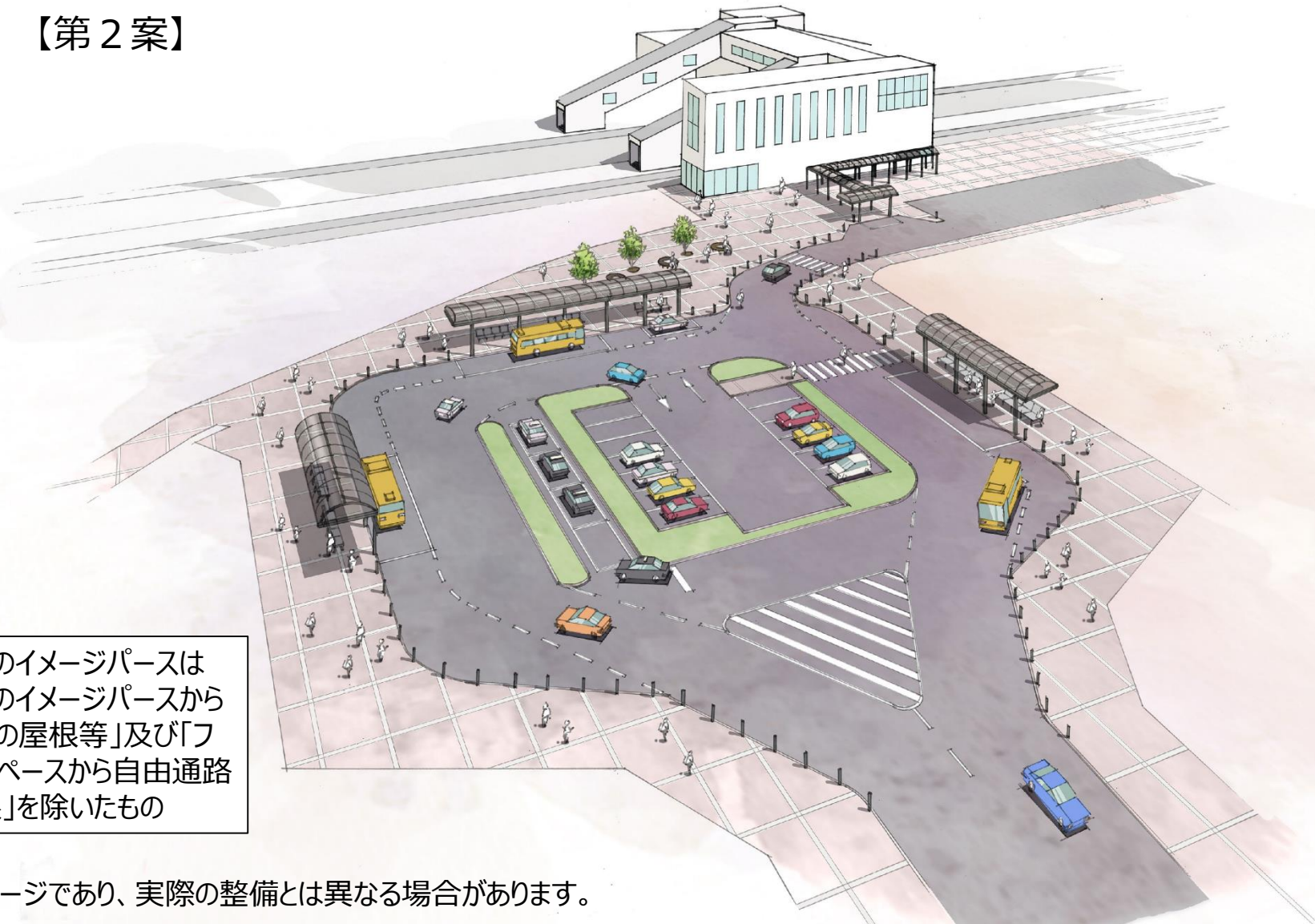
■計画施設数

施設	規模	備考
バスバース	3台	現況確保
フリー乗降スペース(身障者優先)	1台	現況確保
タクシーバース	1台	追加
一般車駐車場	14台	追加
タクシープール	4台	追加
駐輪場	約300台	撤去

4. 花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について

○西口駅前広場の整備イメージパース

【第2案】



【第1案】のイメージパースは【第2案】のイメージパースから「各乗り場の屋根等」及び「フリー乗降スペースから自由通路までの屋根」を除いたもの

※図はイメージであり、実際の整備とは異なる場合があります。

4. 花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について — 3つの整備案 —

【第3案】

(ロータリー範囲を最大限確保し、待合機能(屋根)を拡充)

■形状イメージ

■施設原単位

- ・車道幅員：9.5m (停車帯3.5m + 通行帯3.0m + 余裕幅員2.5m + 積雪地域0.5m)
- ・歩道幅員：6.0m

出典：「駅前広場計画指針(98年日本交通計画協会)」

950 花巻駅公共地下道 縮尺 1:500(A3)
L=122.0 W=4.0 H=2.0

凡例

記号	名称
	歩道舗装
	芝生
	片持ちシェルター
	両足シェルター
	照明
	ベンチ
	サークルベンチ

ロータリーを最大限拡大

駐輪場を撤去し、屋根付き休憩スペースを設置

一般車一時待機場所
台数増加(14台→17台)

フリー乗降スペース追加

一般車降車場所設置

■計画施設数

施設	規模	備考
バスバス	3台	現況確保
フリー乗降スペース(身障者優先)	1台	現況確保
フリー乗降スペース	1台	タクシー、一般車、旅館バス等
一般車バス	2台	追加
タクシーバス	1台	追加
一般車駐車場	17台	追加
タクシープール	4台	追加
駐輪場	約510台	撤去

4. 花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について

○西口駅前広場の整備イメージパース

【第3案】



※図はイメージであり、実際の整備とは異なる場合があります。

4. 花巻駅東西駅前広場現況調査等業務の結果について

○西口駅前広場整備の概算整備費

項目	第1案	第2案	第3案
概算工事費	339,917千円	400,576千円	488,222千円
用地費(駐輪場用地)	32,300千円	32,300千円	57,380千円
合計	372,217千円	432,876千円	545,602千円
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・整備費用が最小 	<ul style="list-style-type: none"> ・各乗降場所に屋根付き待合設置 ・フリー乗降スペース(身障者等)から自由通路までの屋根設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・各乗降場所に屋根付き待合設置 ・フリー乗降スペース(身障者等)から自由通路までの屋根設置 ・一般車降車場所の設置 ・屋根付き休憩場所の設置
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・各乗降場所に屋根付き待合無し ・フリー乗降スペース(身障者等)から自由通路までの導線に屋根無し ・屋根付き休憩スペース無し ・一般車降車場所無し 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般車降車場所無し 	<ul style="list-style-type: none"> ・広場内の歩行空間が狭い ・駐輪場整備面積が多い ・整備費用が最大

※西口駅前広場整備についても国庫補助金「都市構造再編集集中支援事業(補助率1/2)」の活用が可能

【西口駐車場整備の検討について】

- ・東口の花巻駅南駐車場（2箇所）は、駅周辺の需要を十分満足している一方、駅西側からの利用者が半数以上という調査結果
- ・西口駅前広場周辺に少なくとも15台程度の駐車場を整備することで利便性が向上
- ・駅東口周辺に新図書館が整備される場合は、新図書館利用者が西口の駐車場を利用することも想定し駅西口の駐車場整備について検討
- ・西口の駐車場整備については民間活力の活用も含めて検討

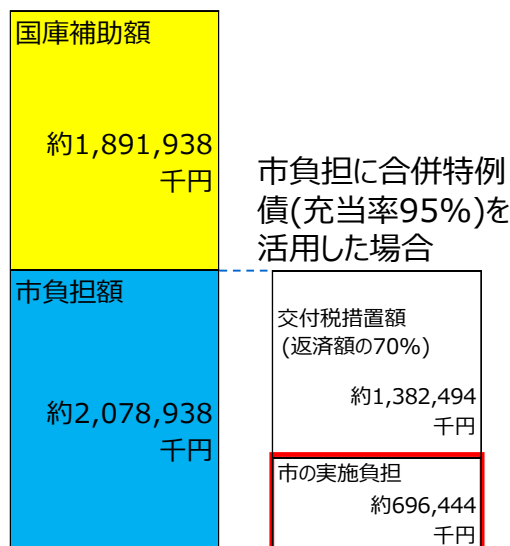
5. 全体事業費及び財源の内訳

○全体事業費

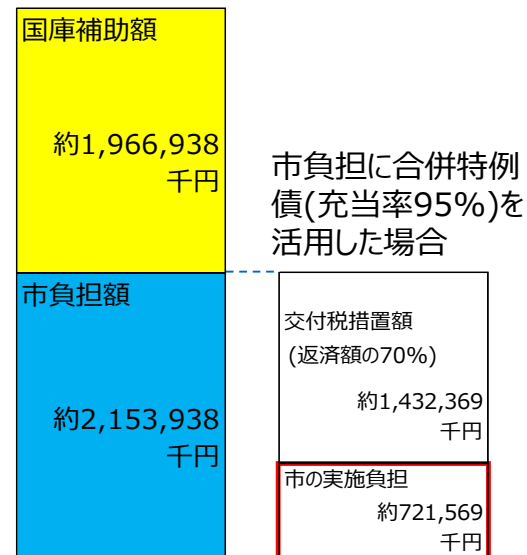
事業	項目	半橋上駅の場合	橋上駅の場合
		金額	金額
駅橋上化・東西自由通路 (2020年までの物価変動含む)	整備費	約 3,440,000 千円	約 3,590,000 千円
	用地費(東西降下部分)	約 22,000 千円	約 22,000 千円
西口駅前広場整備 (第2案の場合)	整備費	約 400,576 千円	約 400,576 千円
	用地費(駐輪場)	約 32,300 千円	約 32,300 千円
西口駐車場整備 (15台程度,500㎡想定)	整備費	約 56,000 千円	約 56,000 千円
	用地費(駐車場)	約 20,000 千円	約 20,000 千円
合計		約 3,970,876 千円	約 4,120,876 千円

- 自由通路の東西降下部分の用地費は東口折り返し階段の場合を想定(実際の整備面積により変動する)
- 西口駐車場整備は、仮に面積500㎡15台程度の整備を想定し試算

半橋上駅の場合



橋上駅の場合



- ※西口駅前広場整備に国の補助制度「都市構造再編集中支援事業(補助率1/2)」を活用(ただし、駐車場整備の補助率は1/8)
- ※財源の一部にはまちづくり基金等の基金の活用も検討
- ※西口駐車場整備には民間活力の活用も検討

【参考資料】

JR花巻駅西口改札設置及び
JR花巻駅橋上化・東西自由通路整備の
検討経過

花巻駅西口改札設置及び花巻駅橋上化・東西自由通路整備の検討経過

時 期	経 過 内 容
平成12年度	<p>西口改札所の設置についてJR東日本コンサルタンツに基本設計を委託。次の2案を提示。</p> <p>① 既存こ線橋をそのまま延伸する「延伸案」 概算整備費 3億9800万円。</p> <p>② 新たに西口広場までのご線橋を建設し既存こ線橋に併設する「併設案」 概算整備費 4億2900万円。</p> <p>※両案とも駅員が常駐する西口改札所事務室を設置。</p>
平成14年度	<p>平成12年度JR東日本コンサルタンツに委託した基本設計に基づく西口改札所設置の条件をJRに照会。 (JR回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設費のほか、西口改札所に常駐する駅員人件費を含めた管理運営費の全額を永続的に地元で負担。 <p>※JR提示による概算の管理運営費 人件費約2100万円、機器使用料約462万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置協議の前提として利用者の基礎調査が必要。 ・既存地下道に加え新たに西口改札設置の理由が必要。
平成15年12月	<p>定例会一般質問、齋藤政人議員の「花巻市新発展計画後期基本計画（平成13年度から平成17年度まで）」の事業進捗状況に関する質問への答弁。</p> <p>(渡辺市長) 多額な費用を要すること等から、次期計画（平成18年度から）に繰り延べざるを得ない事業であることを答弁。</p>

花巻駅西口改札設置及び花巻駅橋上化・東西自由通路整備の検討経過

時 期	経 過 内 容
平成18年1月	新花巻市誕生。新市建設計画（平成17年2月策定）に「花巻駅西口関連整備事業（継続調査）」と掲載。
平成19年3月	花巻市総合計画基本計画（平成19年度から平成27年度）に「花巻駅西口関連整備事業（調査事業）」と掲載。
平成21年1月	議員全員協議会(花巻市公共交通実施計画素案の説明)において、本館憲一議員の花巻駅西口改札所の設置についての質問に対し、総務企画部長から「直ちに動ける状況ではなく時間をかけて検討する必要がある」と回答。
平成21年11月	市経営会議(庁議)において「設置は困難。地下道改修を実施して終了すべき」と方針決定。(非公表)
平成22年10月	花西地区まちづくり協議会から「花巻駅西口改札の設置について」要望書が提出
平成22年11月	<p>花西地区まちづくり協議会から要望に対し「花巻駅西口改札所を整備する場合、約4億円の建設費と永続的に年間2500万円の管理運営経費が生じることとなり、ご提言のありました跨線橋の整備や中央改札口に設置についても、同様の経費負担が予想されます。また、駅利用者につきましても減少が続いており、ご提案の実現は難しい状況でありますことから、まずは、駅西口利用者の利便性向上のため、地下道の改修を進めてまいります。」と回答。</p> <p>※要望書のタイトルは西口改札所であるが「跨線橋の整備と中央改札口の設置」の要望であり、これはいわゆる東西を結ぶ自由通路整備と合わせ駅を橋上化する内容である。</p> <p>一方、市で回答した建設費約4億円及び管理運営費約2500万円の金額の根拠について、当時の担当に聞き取りしたところ「建設費はJRに委託した西口改札の基本設計の金額と思</p>

花巻駅西口改札設置及び花巻駅橋上化・東西自由通路整備の検討経過

時 期	経 過 内 容
(同上)	<p>われる。管理運営費の2500万円は、明確な根拠があるわけではなく、当時あった資料の中から想定して出した数字と思われる」とのことであり、<u>このことから建設費約4億円は、駅の橋上化の建設費ではなく、平成12年度にJR東日本コンサルタンツに委託したこ線橋を延伸して西口改札所を設置する場合の基本設計に基づくものであり、その当時において駅の橋上化を検討したものではないと思われる。</u>管理運営費については、平成14年度にJRから回答のあった西口改札設置に伴う管理運営費約2500万円(人件費2100万円、機器使用料462万円)から想定したものと思われる。</p>
平成23年度～平成24年度	<p>花巻駅公共地下道改修工事。床の塗替、階段及び壁面タイル修繕、排水溝拡張、手すりの設置など実施。改修工事費4377万円。</p>
平成27年3月	<p>JR東日本東北工事事務所に対し平成12年度にJR東日本コンサルタンツに委託した基本設計の工法による、既存のこ線橋を延伸し西口改札を設置する方法が可能か確認。</p> <p>(JR回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存こ線橋を延伸して改札を設置する方法は、JRとして今(H27)ではあり得ない工法であり、現在は駅の橋上化で検討することとなる。 ・ 改札は人件費を考慮し1個所に集約する。 ・ 基本設計については、JR東日本コンサルタンツではなく、直接JR東日本に委託してもらえば、市の構想を聞いたうえで検討する。
平成29年9月	<p>9月定例会で補正予算「花巻駅周辺整備基本計画調査業務委託料1491万円」を議決</p>
平成29年11月	<p>JR東北工事事務所と花巻駅周辺整備基本計画調査に係る協定を締結。</p>

花巻駅西口改札設置及び花巻駅橋上化・東西自由通路整備の検討経過

時 期	経 過 内 容
平成30年9月	JR東北工事事務所から花巻駅周辺整備基本計画調査の報告書納品。 概算整備事業費 (1)橋上化案 52.8億円、(2)半橋上化案 49.9億円
平成31年4月	概算事業費を縮減するため、市からJRに対し、半橋上化案、既存こ線橋活用案の2案を提案。 (市の提案) (1) 半橋上化案 改札口など駅機能を地上部に設置。加えて、鉄道施設・都市施設を現駅舎と同等の面積とする。線路上の構造物を減らすことで施工費・期間を縮減。 (2) 既存こ線橋活用案 駅構内のご線橋を新設するのではなく、既存こ線橋に駅舎を併設して、バリアフリー化のために設置したエスカレーター及びエレベーターを廃止せず活用することで縮減。
(同上)	(JR回答) (1)の半橋上化案を再計算することは可能。(2)の既存こ線橋活用案は、既存こ線橋がレール造であり、開口部の安全性が保てないことから、駅舎と併設して繋げることは不可能。
令和元年11月	JR東日本盛岡支社から再計算した半橋上化案(コストダウン案)提示。
令和元年12月	JR東日本盛岡支社より、既存こ線橋は撤去したい旨の意向。
令和2年1月	国土交通省東北地方整備局建政部都市・住宅整備課より、こ線橋の撤去費用は、補助対象にならないことを確認。

花巻駅西口改札設置及び花巻駅橋上化・東西自由通路整備の検討経過

時 期	経 過 内 容
令和2年5月	議員説明会でJRで再計算したコストダウン案（半橋上化案）を説明。
令和2年6月 ～12月	駅近隣4地区住民説明会及び市内全域対象説明会2回の計6回開催。その他、花巻地域のコミュニティ団体等への説明会を10回開催。その中で、西口トイレの整備要望、西口広場・駐車場整備の意見、橋上駅の検討を要望する意見等あり。
令和3年3月	住民説明会での要望や意見の検討及びJRから提案された自由通路延長の短縮などの事業費精査のための追加調査費を令和3年度当初予算案に計上。市民説明が不十分で拙速であるとの理由で予算削除。
令和3年6月	6月議会で補正予算に追加調査費計上。附帯決議の条件付で予算承認。